

平成24年1月定例教育委員会会議録

平成24年度塩尻市教育委員会1月定例教育委員会が、平成24年1月19日、午後1時10分、塩尻総合文化センター211・2学習室に招集された。

会 議 日 程

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

- 報告第1号 主な行事等報告について
報告第2号 2月の行事予定等について
報告第3号 後援・共催について
報告第4号 平成24～26年度実施計画について

4 議 事

5 その他

6 閉 会

○ 出席委員

委員長	小 澤 嘉 和	職務代理者	渡 辺 庸 子
委員	田 中 佳 子	委員	石 井 實
教育長	御 子 柴 英 文		

○ 説明のため出席した者

こども教育部長	平 間 正 治	こども教育部次長 (こども課長)	小 島 賢 司
教育総務課長	古 畑 耕 司	家庭教育室長	小 澤 和 江
生涯学習部長 (スポーツ振興課長)	加 藤 廣	生涯学習部次長 (社会教育課長)	中 野 実 佐 雄
文化財担当課長	渡 邊 泰 行	平出博物館館長	鳥 羽 嘉 彦
男女共同参画・人 権課長	熊 谷 善 行	市民交流センター長	田 中 速 人
市民交流センター次 長 (図書館長)	内 野 安 彦	市民活動支援課長	清 水 進

○ 事務局出席者

教育企画係長	上 條 史 生
--------	---------

1 開会

小澤委員長 時間が少々早いわけでありますけれども、ただいまから1月の定例教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

新年でありますので、年頭に当たって一言ごあいさつを申し上げたいと思います。昨年の教育委員会事務局は、教育長さんを先頭に各部長さん、課長さん方ががっちり固め、まさに最強の事務局、最強の布陣を思わせる体制ぶりでありました。おかげさまで私たち教育委員は、安心して諸活動に当たることができたこと、衷心より感謝申し上げます。ことしもかくあれと念ずるものであります。

昨年は重要案件がたくさんありました。一例を挙げるならば体育館建設であります。当初は、どうなるものかと思案いたしましたけれども、加藤部長を先頭にあのようによやかな中で方向づけがなされました。行政のトップ、市長さんが適切な判断ができたということは、事務局の準備する情報が、資料が確かであったがためと理解するものであります。引き続いて身の丈に合った施設、かつ有用な施設を求めて模索のイバラが続くこととなりますが、その御苦労に期待いたします。このほか触れるべきことがたくさんあるわけでありますけれども、時間の関係上割愛させていただきます。

過日、事務局から送られてまいりました平成24年度から3年間の事業と関連予算の資料を読ませていただきました。その感想の一端を述べさせていただきます。昨年度、委員会のたびに説明を受けてきた諸事業が財政部局に確かに理解されて、適切に位置づいていたように思います。事務局の皆様方の勢い、説得力を私は感じました。また、新規と継続の区分がありましたけれども教育委員会関係は新規が大変に多く、ここからは事務局の皆様方の現場の状況をしっかりととらえ、見える施策として打ち立てている、いわば攻めの姿を感じとることができました。一委員として大変うれしく感じた次第であります。

新春の新聞紙上では、短歌作品集の発行、緊急メール登録等々が報道され、市民の関心を引き立ててきております。教育分野のみならず各部局の施策も報じられ、市政の関心と期待の大きさを思わせませす。また、先日の朝日新聞には、懐かしの後藤田官房長官の行政にかかわる者の理念として、未来に責任が持てる施策を打ち立てよと、こういう言葉が載っておりました。まさに変換期に入っている今こそ、これが求められているなと痛切に感じました。

委員会のあり方も問われております。私たち教育委員一人一人が資質の向上に努め、時として教育委員会の意味と価値を問われないようにと願いつつ、身を引き締めて務めてまいりたいと思います。引き続き御支援と御指導をよろしくお願いいたします。

2 前回会議録の承認について

小澤委員長 次第に従いまして2番、前回会議録の承認について事務局からお願いいたします。

上條教育企画係長 前回12月定例教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

小澤委員長 よろしいでしょうか。それでは、お願いいたします。

3 教育長報告

小澤委員長 3番、教育長報告に入ります。教育長から包括的にお願いいたします。

御子柴教育長 では、お願いします。学校のほうですけれども3学期、または2学期制のところは2学期の続きということですが始まって、先日校長会がありまして学校の様子などの話が出ましたが、特別何か大きな出来事があったとか、事件があったとか、そういう報告はありませんでした。ここ

へ来てインフルエンザが出てきているということで、学級閉鎖が幾つか出ています。後で、課長のほうからお話をさせていただきます。

中学は、進路に向けて大変熱を帯びてきているということでもあります。それからこの時期の特徴として小学校から中学へ行く、中学から高校へ行くと、あるいは進級するというようなことで、学習のまとめの準備というようなところに力を入れているという話がありました。

先日、高ボッチ教室にいる子供たちがそば打ち体験というのをやりまして、もちろん子供によっても違いますけれども、生き生きと作業をし、そして自分でつくり上げていくという姿が見られました。ともすると友達とのかかわりが少なかったりするわけですが、そんな中で活動を通してやる気が見られ、自分で最後まで一生懸命やるという姿が見られて大変いいと思いました。彼らにとって、小学生3人、中学生3人の参加、そこへ保護者、それから先生方の参加がありまして、小澤委員長さんから手づくりのそば粉を提供していただいてやったわけですが、子供たち、最後に自分でつくったのをうまそうに食べておりました。その中で、やはり急ぐわけじゃないですが、人と人のかかわりの仕方っていうものを学びながら学校へ戻って行ける日が来ればいいなと思ったわけでもあります。

年が明けて、年の内から一番大きなニュースというものは、学校関係では、やはり中学校の30人規模学級ということで、実はきのう阿部知事が塩尻に来て市長と対談をしました。また私としては長野市で県教育委員会と市町村教育委員会の協議会というのがございまして、県の教育長の話も聞くことができました。やはり冒頭に話をするのが、この30人規模の導入でありました。塩尻もいち早く入っていくということで、昨年やらせていただいているわけですが、ことし対象になるのが今のところ塩尻中学と丘中学ということで、去年始めた丘、広陵、西部については2年生がそのまま上がっていくという形で、県のほうからは、それが平成24年、25年で3年生までの完成形になるという話がありました。中学校の特徴として、担任だけでは授業が成り立たないので、専科もあわせて必要な学級数のところには配置するという、県のほうからの力強い方向も示されたわけでもあります。ただ実際に学校現場へ行ってみると、授業数がふえるとか、教室の数がふえるということがあって、いろんな課題を克服しながら進めて行くというのが現状でございます。きのう、阿部知事は30人規模にすれば、少人数学級にすればそれで終わったんじゃないと。その裏には、やはりそれだけの成果、結果を出してほしいといった意味合いのことを話しておりましたし、学校現場もそういう気持ちでやっていかなきゃいけないんじゃないかというふうに思っておりました。

続いて2つほど、いろんな結果等出ておりますので、そのことについて報告をさせていただきます。1つは全国学力テストの中間結果報告ということでお知らせをします。長野県全体としては、全国の結果と比べてと言うんですか、いい結果だということで県のほうからは報告がありました。塩尻市のことについては、こんなふうに今のところ中間総括をしております。3つほどの文でまとめておるんですが、小学校第6学年と中学校3年ともに国語A・B、算数A・B、数学A・B、それぞれにおいて全集計及び県集計の平均正答率を過去4年間同様上回る結果でしたということで分析しております。つまり全集計というのは、全国の12万人とも13万人とも言われている、その数の平均、それから県の集計の平均、それよりも上回っている結果であったということでございます。ただ内容を見ても、小学校のほうの設問については、3問くらい、ちょっと下回る、個々に問題の結果を見ると下回っているところもあるということ。中学も同様に幾つかの問題では下回る結果が出ておりますので、また分析をしてPDCAサイクル、さらにはB問題について力を入れて、力をつけていくということが大事かなというふうに考えております。またA問題、B問題を比べると、主として知識に関するA問題よりも主として活用に関するB問題の平均正答率は低いんで

すが、活用力を問うB問題のほうがA問題よりも集計との差はより広く上回っている。要するにB問題のほうも力をつけてきている結果が出ているというふうに言えるかなというふうに思います。さらに詳細については、また分析して生かしていきたいというふうに考えておりますので、よろしくをお願いします。

新聞等にも出ております不登校、いじめの数等についてでございますが、塩尻市の内容について数を報告させていただきます。昨年同期と比べてということになるんですけども、不登校の数ですが、小学校が6人、中学16人ということで、12月現在、計22人。昨年同期が30人でしたので8名減っているということで、これも一生懸命取り組んでいる成果が出てきているかなというふうに感じております。いじめの問題についても新聞に出ました。塩尻市の状況ですが、小学校2人、中学校5人、計7人。昨年同期が8人でしたので1人改善しておりますし、また、特にいじめにかかわることにつきましては、現在どうなっているかということが非常に重要になるわけですが、解決しているもの、また解決したけれどもさらに引き続き支援しているものということで、学校、また事務局も含めて力を入れて取り組んでいる、そういう結果が出ているかなというふうに思っております。

きょうは、あと楢川のほうの視察、保育園、それから重伝建保存地区の視察も予定されておりますし、また新年会も予定されておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。改めて、後先になりましたけれども、本年もよろしくお願ひしたいと思ひます。以上でございます。

小澤委員長 ありがとうございます。この際であります、質問でございますでしょうか。

田中委員 先ほど教育長先生が御報告してくださいました全国学力学習状況調査についてなんですけれども、昨年、先生方の希望で分析は業者がするようになったところなんですけれども、個人に配られた業者の調査結果は、正誤の数と問題の内容、学習学年、どのような能力について調査したか、全集計での正答率と正答数ごとの児童の割合が書かれているだけでした。個人結果は12月の懇談会の時に渡されたんですけども、その時の先生のコメントは、どのようなところが課題かという説明でした。家庭では課題をどのように受けとめて、どのような学習をしていけばよいかといった具体的な改善内容のお話をお聞きしたかったのですが、そういうことはありませんでした。先ほど塩尻市としての結果やその傾向や、これまでの結果との比較をお伺いしました。家庭での取り組みもそうなんですけれども、全学的な取り組みとして結果を踏まえて各学校の教育目標に据えていくといった、先ほどもおっしゃったようなPDCAのAの部分についてどうなっていますでしょうか。私は、日ごろの授業や先生方のお話の中で、また家庭学習の場でもっと伝え合う力を高めるよう努めたり、自分はどうのように考えるかといったことを説明する練習が必要だと思っております。それは先ほどおっしゃったようなB問題にもかかわってくるのだと思うんですけども、結果を受けとめて、市全体の取り組みとしてどのようにしていけるのでしょうか。

御子柴教育長 一つは各校で分析した結果を、各校で保護者、子供たちに反映していくということで、これからの取り組みの方向を出していかなければいけないわけですね。さらに、もちろんそれは個人のこともかかわってくるので、市としましては先日の校長会を通じて、特に今お話がありましたようなB問題について、ぜひ力を入れてやっていこうじゃないかということです。要するにB問題というのは画一的な答えを求めるものでなくて、考える、あるいは表現するというようなことがありますので、もちろん学校によって多少のそれぞれ方向は違うところがあるにしても、そういうところをやりながら力をつけていくと、そんなような確認をしております。特に教育センターが中心になって分析し、そして方向性を示していくので、まださらにこれからこんなところにウエイトを置いてっていうことは、教育センターとしても分析をしながら方向性を示していくということです。現在のところ、そんなことで進めております。

田中委員 ありがとうございます。学校訪問に行きましても、この間のつくばへの視察に行きましても、やはり伝え合うということはなかなか難しいことで、少しの練習ではなかなか身につけていけないということかなと思いますので、家庭学習のほうでも先生から何かしらの指示があるとありがたいと思います。また、児童質問紙の結果も何らかの形で生徒指導に活用したらいいなと思いました。設問の内容を見ますと、Q-Uアンケートでの質問内容と重なるところもあります。全体的な傾向ではなくて本当に個人個人が答えた結果が出てきますので、また、それも含めて活用していただきたいと思います。以上です。

御子柴教育長 今の御意見、これから具体的にそういうことに取り組めるように進めていきたいというふうにお思いますし、またセンターとも打ち合わせをしたり、あるいは校長会等でもお話しながら進めていきたいと思います。よろしくお願いします。

田中委員 お願いします。

小澤委員長 学力テスト、あるいはいじめ、不登校の問題について資料がありませんので、すぐこの場でどうのこうのと言えないわけでありまして。後ほど、協議会の場で資料を整えていただいて、これらについて話題にしていきたいと思います。感想を言うならば、数年来、塩尻市の学力の課題としてB問題が弱いと。そのB問題に対する指導に力を入れる、こういうような姿勢を持ってきたわけでありましてけれど、それが確かな成果としてあらわれているなという点が1つ。

もう1つは不登校について、特に不登校は8人減ったと。年によって増減はあるわけですが、8人減ったということは行政のほうで手厚く教員等を配置してくださっているおかげかなと、大きな見える形での成果だなと、そんな理解をするわけでありまして。

渡辺職務代理者 いじめは8人、7人と把握されているようですが、いじめと認定する定義を教えてください。不登校の場合は、基準とかあるみたいなんですけれど、行政が把握するいじめの定義ってというのは、何かありますか。

御子柴教育長 要するに本人がいじめと感ずるってところが一番の今言われているところでして、つまり自分がいじめに遭ったという、不快な思いをしていじめに遭ったということのみずから感じれば、それはいじめであるというのが、今の言われている定義になります。

渡辺職務代理者 そうすると先生がそれを把握しないとこっちへは上がってこないってことですね。先生に訴え出た数という理解でよろしいんでしょうか、この数は。

御子柴教育長 今、市内の医療現場ですとか、あるいはきっかけ別ってのがございまして、例えば本人からの申し出によるとか、あるいは保護者からの申し出によるとか、保護者が子供の気持ちを聞き取って、あるいは友達からの申し出によるとか、そういうようないろんなきっかけがございまして、事務局としてもこのきっかけとして先ほどの人数、どういうきっかけでそれが出てきたかということは全部把握して進めております。

渡辺職務代理者 氷山の一角と見ていいんでしょうかね。この数というのは、ある意味氷山の一角と見ていいんでしょうね。

小澤委員長 いいんでしょうね。

渡辺職務代理者 わかりました。

○報告第1号 主な行事等報告について

小澤委員長 それでは報告第1号、主な行事等報告についてお願いいたします。資料の1ページです。委員の皆様方から質問、あるいは御意見等がありましたらお願いいたします。

田中委員 1月8日の日曜日に行われました成人式についてお話しします。よいお天気の中、晴れやかに華やかな新成人の集まった成人式でした。出身中学校の同窓会の色が濃い典型的な自治体の式と

というような感じで毎年見させていただいています。旧交を温めるということは、卒業からこれまで、成人の日までの期間を自分で振り返ってお互いの成長を認め合うといった面で、新成人としてはプラスになると思いますが、もう少し新成人の誓いを、こちらの報告では新成人の宣誓、成人式の式次第では新成人の誓いとなっていましたけれども、そのところをもう少し充実してもいいのかなと思いました。これからの塩尻市の担い手となる新成人ですし、よく市長さんのあいさつの言葉に出てきます100歳の塩尻市をつくっていくということで、それに向けて大切な人材です。責任ある市民として自覚を持っていただくために、抱負を自分の言葉で表現してもらう機会に塩尻市の成人式がなったらいいなと思います。例えばなんですけれども、各出身校に一人ずつの代表が新成人の宣誓を行うといったことをやってもいいと思います。宣誓も気楽な形で、どういうふうな抱負をこれから持っているかということを気楽に語れるような場があってもいいと思いますし、一言でも、また人に見せるものでなくてもいいですので、一人ずつ新成人の誓いをカードに書いて持ってきてもらうということもいいかなと思いました。

最後に帰りがけに見たんですけれども、会場の入り口に消防団募集のチラシがありました。そういったところから市民の公益の活動について考えてみたんですけれども、公益的な市民活動をされている方々の発表があってもいいのかなと思いました。

毎年少しわざわざする会場で保育園児の発表には、さすが新成人ですので耳を傾けているようです。どういう発表がいいのかなと思ったんですけれども、やはりパフォーマンス的に見せるものもいいのかなと思いついたのが、去年の早ね早おき朝ごはんのつどいの時に発表していただいたパパ友の輪の体操です。こういうふうな市民活動があるんだよっていうことを新成人に見ていただくいい機会だと思います。もしかしたら、将来の育メンとして目覚めていただくようなこともあるかもしれませんので、そんな発表もつけ加えていただくと、市民としての、新成人としての自覚が少しは出てくるのかなと思います。また実行委員の方とも相談していただいて、やっていただきたいと思います。

小澤委員長 なかなかいいアイデアを提示してもらいました。委員さん方、ことに成人式は全員参加したわけでありますから、いかがでしょうか。

石井委員 今の塩尻の場合は、実行委員が自分たちでこうやろうということをやっているんで、別にこちらから、いろいろっていうことよりも、自分たちでやろうという気持ちを大事にするっていうことが必要じゃないでしょうか。そうすることによって、昔みたいに騒ぐようなこともなくなってきたし、全国的にもそういうのは少なくなってきました。やはり自分たちで自分の力でやろうという、それがああいう結果になっているんじゃないかなと思って、私は見ましたけれども。

小澤委員長 実行委員方式は大変よろしい、このまま続けていくと。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） 貴重な御意見をありがとうございます。実は担当者レベルでの反省というか、話し合いを少し持ってみたんですけれども、今の田中委員さんからの御意見も、中に出てきておりますので、実行委員の結成時期を早めるとかですね、そんな形をとりながら十分な話ができて開催できるように努力していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

小澤委員長 成人に向かっての決意を個人のカードに書いて、掲示するとか、あるいはパフォーマンス的なものも、市の行政に関するものも入れていくっていいですね。

石井委員 新成人になった時点で、自分のことをですね、将来のことを書く。私は提出するんじゃないかと、そのカード用紙を用意しておいて、自分で持ってなさいというような方法も必要じゃないか。そうするとまた後日、おれは成人式になった時にこういう決意をしたななんて思い出して見るのもいいんじゃないかなと。ただ書きっぱなしで出しちゃうとそれまでじゃないかなと思うんです。

小澤委員長 いろいろなアイデア、ありがとうございます。それでは、報告についてはよろしいでし

ようか。

○報告第2号 2月の行事予定等について

小澤委員長 2月の行事予定についてお願いいたします。資料の2ページです。目で追っていただいて。

事務局のほうで訂正、お願いします。

上條教育企画係長 済みません、2月の定例教育委員会の日程の変更についてお願いいたしたいと思っております。この予定表では2月23日木曜日、13時10分から定例教育委員会ということでございますけれども、事務局の都合で誠に恐縮ですけれども日程の変更をお願いするものでございます。変更後が2月21日火曜日、13時10分から。場所は総合文化センター3階の302多目的室ということでございますので、よろしくをお願いいたします。

小澤委員長 各委員さん方よろしいでしょうか。2月21日、時間は午後1時10分からであります。そのほか、いいですか。

○報告第3号 後援・共催について

小澤委員長 それでは報告第3号、後援・共催についてであります。資料は3ページから5ページであります。いかがでしょうか。

石井委員 22番のキンボールと、それから23番のミニバレー、それから21番のスケート大会ですか、このごろ何か、御丁寧に出席の依頼書を送っていただいていますけれども、今までなかったけれど、どんなぐあいになっているわけでしょうか。

加藤生涯学習部長（スポーツ振興課長） 応援いただければということでございますので、よろしくをお願いします。

○報告第4号 平成24～26年度実施計画について

小澤委員長 次、報告第4号に入ります。平成24年から26年の実施計画についてお願いいたします。

この計画につきましては、10月の定例教育委員会において要望段階での各部の内容を示していただきました。査定を経て決定したものが過日公表され、資料を事前配付いただきました。10月の折に協議をしておりますので、新規の事業や変更のあった事業に絞って事務局から説明をしていただきたいと思います。それでは課長さん方、よろしくをお願いします。

古畑教育総務課長 それではお願いいたします。向こう3カ年で計画する事務事業につきまして、後期基本計画の施策体系ごとに位置づけた実施計画ということで、市民公表用の資料でございます。委員長さんが今申されましたように、変わったところ、あるいは平成24年度の予算要求の状況も含めまして主な点だけ説明をさせていただきます。教育総務課からになりますので、私のほうから説明をさせていただきますので5ページをお願いいたします。

まず、第1章の第1項、学校教育の分野でございますけれども、2番目でございます、事業名にございます学校施設リニューアル改修事業でございますが、計画的に、老朽化する学校施設についてリニューアルを行うという事業でございます。平成24年度は広陵中学校を予定しております、30人規模学級導入に伴う教室の増設を平成24年度事業で計画をしておりますが、国の今年度の補正予算に対応いたしまして、これを前倒しいたしましてこの平成23年の3月補正、次回の議会に補正予算として計上させていただきたいというふうに考えております。

同じように前倒しする事業でございますけれども、これは両中組合になりますが、その表の下か

ら4番目でございます両小野中学校耐震改修事業。これにつきましても国の補正予算に対応して前倒しを行う予定でございます。

また、事業名の中の上から6番目と7番目、学校施設エアコン設備設置事業、その下の学校図書館システム構築事業がございますけれども、実はこれは実施計画で当初、査定減、ゼロ査定になったものでございます。それを復活要求し、認めていただいたものでございます。学校施設のエアコンにつきましては、来年度につきましては小学校の保健室、平成25年度につきましては中学校の保健室、その後調理室と、こういう順序でエアコンを設置してまいりたいというふうに考えております。

続きましてその下の第2項でございます子どもたちの成長と発達の支援という中で、最初の「笑顔で登校」推進事業でございますけれども、これにつきましては、学校不適応対策ということで学校支援コーディネーターの配置ですとか、あるいはQ-Uアンケートの実施ですとかという事業を展開してまいりましたが、平成24年度は新たに子と親の心の相談員を市費で小学校の拠点校に1名配置をしてまいりたいというふうに考えております。

その下の奨学資金貸与枠拡大事業でございますけれども、事業内容の説明にございますように、貸与額の増額あるいは入学一時金の新設等、この12月議会で条例案の議決をいただきました。2月1日の塩尻市広報におきまして制度の改正についてお知らせをさせていただき、2月の15日号で募集をかけていきたいというふうに考えているところでございます。私のほうは以上でございます。

小澤委員長 最後一括質疑でよろしいでしょうか。では、続いてお願いします。

小島こども教育部次長（こども課長） 課の順で資料が少し飛びますけれどもお願いいたします。次の7ページをごらんください。7ページの下から3つ目の欄でございますけれども、区分の欄は継続というふうになってはいますが、事業の内容としては新規になります。たまたま同様の事業で建設の補助金が前回あったものですから継続しておりますけれども、新年度、平成24年度から民間の保育所の運営費を負担していくという事業でございます。説明に書いてございますけれども、民間の保育所運営を支援するという内容でございます。ちなみに平成24年度の予算枠では1億94万円というふうな負担を予定しております。こども課は以上でございます。

小澤家庭教育室長 家庭教育室の関係でございますけれども、済みません、5ページに戻っていただきまして第2項の下段、元気っ子応援事業でございます。昨年10月の説明の際と内容等は変わっておりません。金額についてはただいま査定中でございます。以上でございます。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） それでは社会教育課関係でございますが、6ページが一番上、生涯学習を支援します、の下段3件でございますが、10月の20日での説明と若干変わってきましたので。総合文化センターの改修事業につきましては、講堂の音響関係の実施を次年度に予定しております。そのほか屋根の改修等がございましたが、それはこの計画の以降という形になりました。そのあとの楢川地区の公民館耐震診断については最終年度、それから公民館の分館施設事業については継続でございますが、これは各地区の要望等をお聞きする中で実施をしていくところでございます。

そのページの一番下の部分に市民の芸術文化活動を支援します、の部分については、10月の時に御説明をしております。短歌フォーラムの「言葉の魅力」発信事業につきましては、先ほど委員長さんのほうからお話がございました新聞記事に載っている内容でございます。

その下の地域文化啓発発信事業につきましては、もう少し具体的な部分の資料固め、それから地域の状況固め等を優先しながら事業を実施していきたいというふうな形で現在、検討をしております。

次のページ7ページの文化財関係については、10月20日の時に御説明したとおりでございます。

加藤生涯学習部長（スポーツ振興課長） 6ページについてでございます。スポーツに親しめる環境と機会をつくり出すという部分で、先ほど委員長のほうからお話がありましたが、新体育館にかかわる部分の新たな動きとしまして、アンケート結果に基づきまして基本的には維持費の心配、また建設費の大きさ、大変に数値で大きな部分に市民が心配しておるということでございまして、積極的な賛成が少なかったというような状況を踏まえ、市長答弁の中では、身の丈に合ったという言葉を使いながら、ある程度シェイプアップしていかなきゃいけないんだろうなというふうな御答弁をさせていただいた経過でございます。これにかかわって、3年間にわたり、来年度からおおむね1,000万円の調査費をもって調査をしていこうというような部分でございます。それは、今までのものをゼロにして論議をするのではなくして、今までのものを基本としながら行っていくことで、まだこれから予算査定を経るわけでございますけれども、事務局側とすれば300万円くらいの、まだ見込みでございますけれども、調査費を盛って一歩進む形の材料を作成していきたいという部分がこの中での主なものでございます。

また、新たなものとしたしましては、楯川の体育館の耐震診断が行われてないということで、耐震診断を行っていくという部分が新規に計上をさせていただいておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

鳥羽平出博物館館長 第1章の最後になります。7ページの上から5つ目でございます。市の公共施設の耐震診断を年次計画で行う中で、平成24年度、来年度でございますけれども、平出博物館の3つの施設のうち2館が該当になりますので耐震診断を行っていくものでございます。以上です。

内野市民交流センター次長（図書館長） 6ページをお願いいたします。第3節第1項生涯学習を支援します、の中で、新しく図書館で『これからの図書館像』推進事業がございます。こちらは平成18年に文部科学省によりまして有識者がまとめた新しい図書館、こういう図書館をつくっていこうという指針に対して、塩尻市としてもいろんなイベントを通じてPRを積極的にしていこうという事業でございます。以上でございます。

小澤委員長 ありがとうございます。以上、ざっと説明をしていただきました。質問あるいは御意見等ございましたら御指摘をお願いいたします。

田中委員 ちょっと課がまたがった質問で申しわけないんですけども、これからの公共ですとか、これからの公益、図書館のほうでもこれからの図書館というお話もありましたし、広報に載っております2月4日の智恵との交流を通じた人づくりの講演会のところでも、これからの働き方、これからの人材活用ということで、これからという言葉が少し多く出てきているんですけども、これは大きな震災があったり、社会保障が厳しくなっている等のことを踏まえて変革の時期ということで、これからという言葉が出てきているのかなど、議論されているのだと思いますけれども、大体で結構ですので、どのような方向のこれからについて考えていらっしゃるのか教えていただきたいと思います。

内野市民交流センター次長（図書館長） 図書館でいうこれからでありますけれども、ここに書いてあります大きな2つテーマがあります。図書館は、一つは役に立つ図書館です。もう一つが課題解決型図書館になります。この2つ、塩尻はこれまで図書館を建設するに当たって広くPRをしてきました。これを具現化していくためにイベントを通じてやるということでございます。

清水市民活動支援課長 これからの公益、あるいは、これからの公共ということで、市の総合計画の中でうたわれているところです。基本的には、今まで公共サービス等について行政が市民等にサービスを提供するという形が基本的な形として、戦後ずっと行われてきたわけですけども、先ほど

委員さんがおっしゃられたとおり、時代の背景、あるいは経済的、社会的背景の中で、これからの公益は行政だけではなくて企業、市民、あるいは市民活動、いろんなセクターの方々が協働して築いていくということで、政府のほうも新しい公共についての円卓会議というものを開きまして、それに基づいて各都道府県、平成23年度、24年度を新しい公共の場づくり補助金という形で、全国の都道府県が動いています。それを受けてということではないんですけども、塩尻市は、これよりも以前からこれからの公共ということを考えてまちづくりの形をつくっていかうという中で、いろんな企画の中で市民との協働とか、あるいはいろんなセクターが集まった形でのイベントの企画とかということで、これからという表現が結構出てくる場面があるのかなというふうに思っています。以上です。

田中委員 ありがとうございます。

スポーツ振興課の6ページの防災コミュニティ施設整備事業についてお伺いしたいです。この前の体育館建設のアンケートで防災施設を兼ねた健康施設がほしいということで書いてあったんですけども、塩尻市内のあるコミュニティ施設が新しい建物ということででしょうか、災害時の福祉避難所に指定されています。そこは床暖房で暖房をするようになっていますが、もし、災害が発生すると暖房のための燃料が途絶えるということもあると思います。そうすると、福祉避難所に指定されているにもかかわらずその施設は、冷たいコンクリートの箱ということになってしまいます。スポーツ振興課の担当で担当課が書いてありますけれども、先のアンケートで希望が多かった防災コミュニティの施設ですので、消防防災課、福祉課や専門家や地域の方とよく話し合っただけでつくっていただきたいなと思います。スポーツするにはよいけれど避難所としてはちょっと使いづらいとか、体力づくりはできるけど地域の人々が交流するには不便ということのないような施設にしたいなと思います。よろしくをお願いします。

小澤委員長 要望ですね。

加藤生涯学習部長（スポーツ振興課長） 大変課題多き御要望をいただいたというような気がしております。基本的には、これは平成たしか20年でございましたか、吉田地区の皆さんから区長会長名でですね、避難施設が吉田地区には人口の割にすこぶる少ないということがきっかけによって、健康づくりと避難所機能、また健康づくり機能も踏まえたですね、体育館又は施設がほしいという要望をいただいて、そこから動きが始まっております。想定されておりますのは、長者原公園の今、西公民館のある場所、しかもテニスコートが中にございまして、テニスコートが使われていないと、この部分を一応予定をしてターゲットにして動いている部分でございまして、今、委員さんがおっしゃるような部分の福祉また防災すべてを兼ね備えた施設ということになりますと、大変膨大な、今回のアンケートでも、新体育館アンケートでもございましたが、コストがかかっていく。床暖房というような部分はちょっと考えにくいというような部分であります。と申しますのは、いつ起こるかわからない震災に備えることは大変重要ですし、防災機能をセットすることは重要なことなんですけど、先ほど申しましたように、これをすべてですね、やっていくと維持費的な問題、また一時的な避難という場所でもございますので、心を込めた形で最小限のものは当然必要になりますけども、御要望をお聞きしながら、今現在12月議会の直前でございましたけれども、区長会のほうに、吉田地区のですね、こんな素案で今考えているが、今のうちにどんどん御意見いただきたいという投げかけもさせていただいておりますので、追々地元から要望が上がってくるかと思っております。

田中委員 今の床暖房の話は、床暖房にしておく、かえって燃料が途絶えた時に冷たいコンクリートの施設になってしまったということですので、含めてお願いしたいということでした。以上です。

小澤委員長 エアコンの設置の問題ですけれども、来年は小学校、次の年は中学校。小さい保育園の子供の姿がよぎるわけでありまして。保育園関係は、さらに広げるっていう予定は今のところありま

せんか。

小島こども教育部次長（こども課長） 今回、向こう3年間の実施計画の中では、予定しておりません。昨年も一昨年も、夏にかなり暑い日がございましたけれども、風通し等の対応をする中で、比較的過ごしやすい環境ができております。現在やっている未満児の体温調整ができないところにとどめて設置しているわけですが、一昨年、昨年の状況を見る中では、今の施設で十分な対応ができるのではないかとこのように見ているところでございます。

小澤委員長 きょうの新聞にも、理事者査定が始まって来月の中旬には予算発表と、こんなスケジュールの発表になっておりました。課長さん、部長さん方にはいろいろと汗をかいていただくわけがありますけれども、よろしくお願ひいたします。

4 議事

5 その他

小澤委員長 本日、議事及びその他の案件はありません。したがって、本日予定されていた案件はすべて終了になりました。事務局のほうでほかに。

古畑教育総務課長 その他でよろしいでしょうか。

小澤委員長 はい、お願ひします。

古畑教育総務課長 それではお願ひいたします。市内小中学校のインフルエンザによる欠席状況について報告をさせていただきます。本日のお昼時点でございますけれども、市内小中学校のインフルエンザによる欠席者数が102名でございます。このうち、学級閉鎖を実施しておりますのは、5校7クラスという状況になっております。学校による内訳を申し上げますと、●●小学校が1クラス、●●小学校が3クラス、●●小、●●小がそれぞれ1クラス。中学校では、●●中学校が1クラスという状況でございます。以上です。よろしくお願ひいたします。

渡辺職務代理者 インフルエンザのタイプってわかります。そこまでは把握できないですか。AかBかとか。

古畑教育総務課長 把握はしておりません。

渡辺職務代理者 わかりました。

中野生涯学習部次長（社会教育課長） それでは私のほうからは、楯川にあります楯川歴史民俗資料館の冬期間の閉館について御報告いたします。1月、2月の間でございますが、火曜日から木曜日について閉館をしまして、金土日の開館。その閉館の期間につきましては、中にある資料等の整備等を行う予定でございますのでよろしくお願ひします。以上です。

石井委員 私の感想というか希望ですけれども、ちょっとお聞きしたいことがあります。先ほど委員長のあいさつの中に、これだけすばらしいスタッフの皆さんがいて、すべて計画を立ててやっているというようなことです。これからそれに対する予算要求もしてもらおうということでございますけれども、私どもできるだけ範囲でお力添えをしていきたいなど、こんなぐあいに思っています。一つ、学校の先生がすごく今忙しいというような状態ですけれども、そこら辺はなぜかということ、課長さん、おわかりでしたら。

古畑教育総務課長 学校の先生が忙しいということは、昨今言われているとおりでございますけれども、さまざまな要因があるというふうに思います。保護者からの要求が多岐、多様にわたる。それに一つずつ応えていく必要があるというふうに思っております。それから、教科指導のほかに学級運営にも力を注いでいかなければならないというようなこと。教科指導と学級運営と保護者対応、それから休日等のクラブ活動に対する対応、こういったものが総体的に昔に比べて多くなってきて

いる、内容も複雑になってきているというようなことが原因なのではないかというふうに私は思います。

石井委員 そこら辺は、私も若干承知はしていますけども、ことし始まったばかりですけれども、30人学級になってくる。今まで50人も教えていたのを、今度30人で、そこへまた加配の先生も入るというようなことで、先生方は余裕をもった教育ができるんじゃないかなと思うんです。教育再生って言われていますけども、塩尻市へ来たい先生が多くなるということが、私は一番理想ではないかと思うんですね。先生方が、塩尻市なら行きたいというふうに手を挙げてもらえる先生が多くなるというふうなぐあいになっていくのが、理想ではないかというふうに私は思っているものですから、こんな質問をしたわけです。それにはやはり、こういう中だけで討論してるんじゃないくて、また、これからまた小中一貫校だとか30人学級だとか、それから、きょうテレビを見てますと9月入学なんていうような話も出ています。そういったようなものに対応していくならば、やはりこういう人数ではなくて、もうちょっと教育再生協議会というようなものを持ってですね、いろいろ研究をしたり、またPRをしていく。そういう人たちからは活動をしていただくというような機関を、組織を設けたらどうかということを考えております。また皆さん方の中で研究をいただいて、いい方向があったらお示しをいただきたいと思うし、そんなぐあいにやっていったらどうかなんていうことを思っておりましたので。本当は、新年度というと4月ですけれども、ことし初めての会議でしたので、ちょっとこんな感想を申し上げます。よろしくどうぞお願いします。

小澤委員長 このことにつきましては、事務局とも詰めていきたいと思えます。

石井委員 というのは、やはり子供は地域で育てなさいって言われますけども、やはりそこにはですね、スタッフが必要だと思うんですね。そのスタッフを育成していったり、探し出したりするには、やはり最初のうちは、要するに区長だとか公民館長だとかそういった方々を取り入れながら、そういう幅広い目でもって見てもらう協議会のようなものをつくって始めていったらどうかなと。そうすると、元気っ子だとか、例えば各地区で対応できるような事業も展開できるんじゃないかなと、こんなぐあいに考えるわけです。いずれにしても我々5人では、各地区でそういった働きもなかなかできませんし、またよろしく御審議をいただきたいと思えます。以上です。

小澤委員長 大事な点を御指摘いただいてありがとうございます。教育委員会の新たな活動の方向にも関わると思えますので、検討課題としてまいりたいと思えます。

上條教育企画係長 それでは、私のほうからこの会議終了後の日程についてお願いをいたしたいと思います。本日、この定例教育委員会終了後、教育委員会協議会の現地視察ということでお願いいたします。午後3時出発という予定を組んでございますが、この会議が少々早く終わる見込みになっておりますので、午後2時50分くらいに出発するような予定でお願いいたします。

小澤委員長 ありがとうございます。

6 閉会

小澤委員長 それでは、以上で1月の定例教育委員会を閉会といたします。ありがとうございました。

○ 午後2時16分に閉会する。

以上

平成24年2月21日

署 名

委 員 長

同職務代理者

委 員

委 員

教 育 長

記 録 職 員 教 育 総 務 課
教 育 企 画 係 長
